

平成28年度 茨城北西看護専門学校 学校運営評価結果

当校では、教育の質向上や安定的運営を図るために平成24年度に教職員による学校運営評価を初めて実施した。その後、平成25年度は学校運営評価に関する研修に参加し、評価項目についてを検討した。そして、平成26年度からは、学校運営の改善のためにホームページにこの結果を公表しており、平成28年度分について下記に示します。

評価の実際

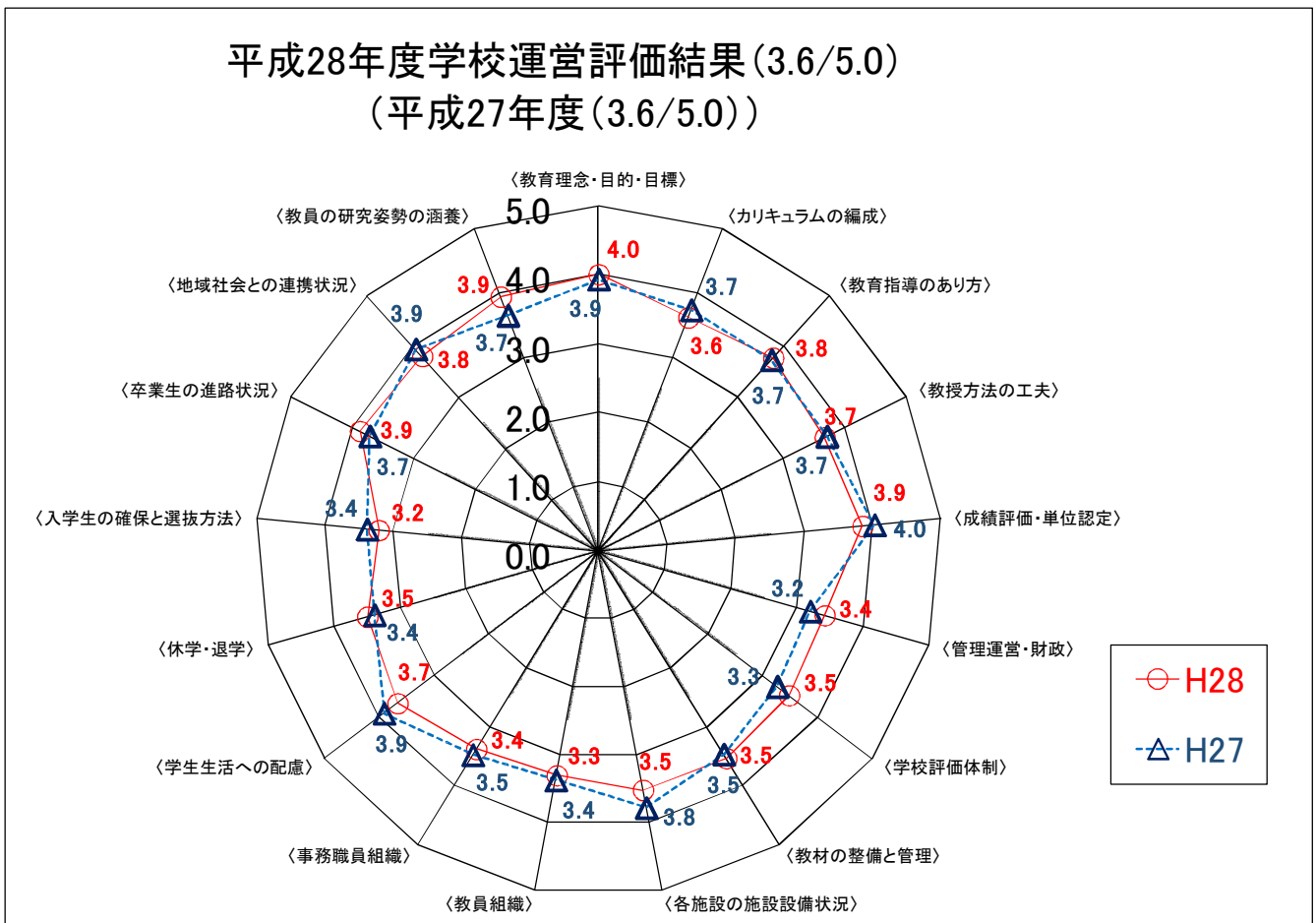
評価方法:11分野17項目について、5「よい」、4「ややよい」、3「普通」、2「やや不十分」、1「不十分」で採点。

①平成28年度の全体評価は、5点満点で3.6点であった。(平成27年度と同ポイント)

②17項目全て3以上の評価結果となった。

③4点以上の比較的高いポイントを得た項目は、「教育理念・目的・目標」の1項目であった。

一昨年の平成26年度においては、6項目で4点以上の結果を残していた。



平成 28 年度 「茨城北西看護専門学校」に関するアンケート集計結果

I. 調査方法

1. 非常勤講師 58 名に、学校・学生に対する調査用紙を平成 29 年 1 月中旬一斉に郵送し回答を 3 月末までに求めた。以下に結果を示す。3 年生の非常勤講師は 4 名であり、集計・分析はしていない。

II. 結果

1. 回収数・回収率

表 1 に示すような回収率であった。

表 1 質問紙配布・回収率

配布数	回収数	回収率
58	41	70.7%

2. 講義をしている学年について

講義をしている学年については表 2 に示す

表 2

1 年生	23 名
2 年生	14 名
3 年生	4 名
計	41 名

3. 学校に対する評価

学校に対する評価を表 3・図 2 に示す。

表 3 学校に対する評価(n=41)

	当てはまる	どちらとも いえない	当てはまら ない
1. 担当科目を進めるにあたり必要な情報を提供している	38	3	0
2. 講師が授業しやすいように配慮している	39	2	0
3. 担当科目の講義時期は適切である	38	3	0
4. 試験の時期は適切である	39	2	0
5. 学校から講師への連絡(授業・試験依頼等)の仕方は適切である	33	1	0
6. 学校の教材は十分である	32	9	0
7. 学校は講師が意見を述べやすい環境である	39	2	0
8. 教職員の学生への指導体制は整えられている	39	2	0
9. 教職員の講師への態度は礼に合っている	41	0	0

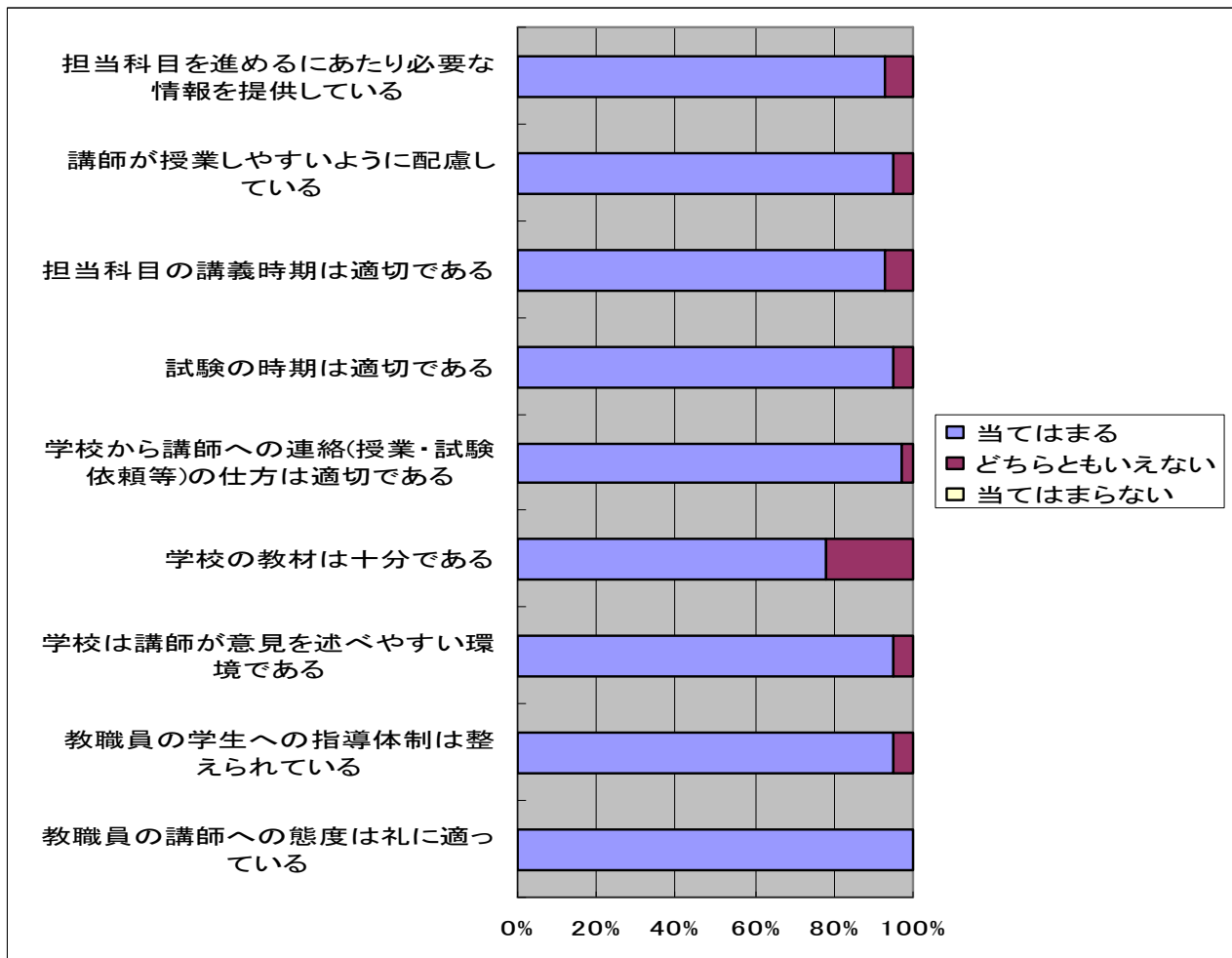


図1 学校に対する評価 (n=41)

4. 学生に対する評価

1) 学生全体に対する評価を、表4・図3に示す。

表4 学生全体に対する評価(n=41)

	当てはまる	どちらともいえない	当てはまらない
10. 学生はよく学習をしている	15	19	2
11. 学生は授業中に居眠り・私語をしていない	8	35	3
12. 学生は授業に積極的に参加していた	16	19	1
13. 試験結果は期待していた通りである	17	16	3
14. 学生の講師への態度は礼に適切である	34	2	0

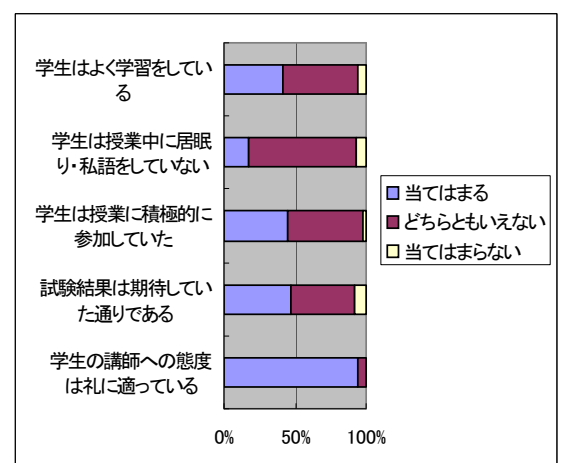


図3 学生全体に対する評価(n=41)

2) 1年生に対する評価を、表5・図4に示す。また以下の意見が得られた。

表5 1年生に対する評価(n=23)

	当てはまる	どちらとも いえない	当てはまら ない
10. 学生はよく学習をしている	9	11	2
11. 学生は授業中に居眠り・私語をしていない	6	15	1
12. 学生は授業に積極的に参加していた	9	12	1
13. 試験結果は期待していた通りである	7	13	2
14. 学生の講師への態度は礼に適切である	21	1	0

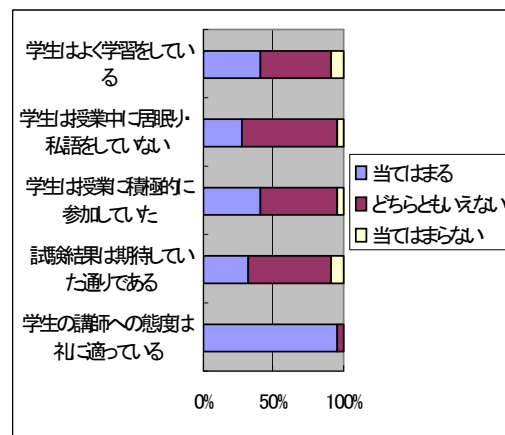


図4 1年生に対する評価(n=23)

意見

- ① 授業に関心がなくはじめから机に伏せている人がいる。
- ② 他の教科の資料を広げている。
- ③ 学力の格差が大きくなっている。

3) 2年生に対する評価を、表6・図5に示す。また以下の意見が得られた。

表6 2年生に対する評価(n=14)

	当てはまる	どちらとも いえない	当てはまら ない
10. 学生はよく学習をしている	6	8	0
11. 学生は授業中に居眠り・私語をしていない	2	10	2
12. 学生は授業に積極的に参加していた	7	7	0
13. 試験結果は期待していた通りである	10	3	1
14. 学生の講師への態度は礼に適切である	13	1	0

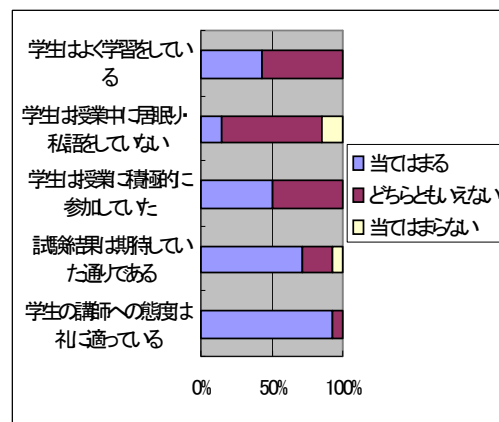


図5 2年生に対する評価(n=14)

意見

- ① 居眠りの学生が多い。
- ② 全体的な学習意欲の低下を感じる。
- ③ 学習が足りない。

おわりに

講師の「学生の学習態度」についての評価は、「学生の講師への態度は礼に適切である」以外の項目は、当てはまるが半数以下でした。講師は、学生が授業に積極的でないと思っており、授業のやりにくさを感じているようです。学習の楽しさを身をもって体験できるように指導していきたいと考えております。

平成 28 年度 学生の学校に対する評価

1. 方法 各学年に卒業前、終業式前にアンケート用紙(学校の学生への支援について)を手渡した。自由参加であり、回答者は回収ボックスに入れた。

回答方法は各設問に対し、「当てはまる(3点)」「どちらともいえない(2点)」「当てはまらない(1点)」の3件法を用いた。

2. 結果

1) 3年生(現卒業生)(回収率100%)

1)設備、教材が整っている	2)スペースが設けられている	3)経済的支援体制が整えられている	4)相談する体制が整えられている	5)課外活動の支援体制が整備されている	6)国試対策がなされている	7)学生の意見が配慮されている
2.49	2.66	2.77	2.23	2.11	2.54	1.85

2) 2年生(現3年生)(回収率78%)

1)設備、教材が整っている	2)スペースが設けられている	3)経済的支援体制が整えられている	4)相談する体制が整えられている	5)課外活動の支援体制が整備されている	6)国試対策がなされている	7)学生の意見が配慮されている
2.24	2.34	2.21	2.03	2.27	2.1	1.93

3) 1年生(現2年生)(回収率72%)

1)設備、教材が整っている	2)スペースが設けられている	3)経済的支援体制が整えられている	4)相談する体制が整えられている	5)課外活動の支援体制が整備されている	6)国試対策がなされている	7)学生の意見が配慮されている
2.24	2.34	2.21	2.03	2.27	2.1	1.93

<おわりに> 学生からの「学校の学生支援」に対する評価は、「学生の意見が配慮されている」が低く、さらに学生への対応等に工夫をしなければならないことを実感いたしました。さらに、いろいろなご意見を頂きましたので、少しでも学習しやすいような環境を整えてまいりたいと思っています。